

秋田市教育委員会  
令和6年7月定例会  
(当日配布資料)

【資料目次】

教育長等の報告

(2) 令和6年度教育委員会事務の点検・評価について

… 1

令和6年度の教育委員会事務の点検・評価について

定例会資料：報告(2)  
令和6年7月25日  
教育委員会総務課

教育委員会事務の点検・評価報告書(案) (令和5年度) に対する教育委員からの意見および対応一覧

ページ	施策・事業	意見内容(指摘箇所)	報告書(案)の記載内容	対応内容
6	「はばたけ秋田っ子」教育推進事業の実施 (学校教育課)	ICTについて、※印や括弧書きで説明を記載してもよいのではないか。(実績および成果)	【実績および成果】 「中学生サミット」を年2回開催し、市内中学校の生徒会代表者が、各校の生徒会活動などについて情報交換等を行うとともに、デジタル・シティズンシップ(※3)の考えに基づいたICTのよりよい活用について協議したり、学校や地域の魅力を発信したりするなど、学校間の交流を深め、中学生の主体的な取組の推進を図った。 【令和5年度実績】 参加者 90人  欄外 デジタル・シティズンシップの説明	次のとおり、ICTの説明を実績および成果欄に追加する。  「中学生サミット」を年2回開催し、市内中学校の生徒会代表者が、各校の生徒会活動などについて情報交換等を行うとともに、デジタル・シティズンシップ(※3)の考えに基づいたICT(情報通信技術)のよりよい活用について協議したり、学校や地域の魅力を発信したりするなど、学校間の交流を深め、中学生の主体的な取組の推進を図った。
16	外国語指導助手の派遣 (学校教育課)	ALTについて、※印や括弧書きで説明を記載してもよいのではないか。(実績および成果)	【実績および成果】 8人の新規ALTを含む37人のALTを市立小・中学校および高等学校等に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高める指導の充実を図るとともに、異なる文化や価値観、生き方にふれる機会を設けた。	次のとおり、ALTの説明を実績および成果欄に追加する。  8人の新規ALT(外国語指導助手)を含む37人のALTを市立小・中学校および高等学校等に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高める指導の充実を図るとともに、異なる文化や価値観、生き方にふれる機会を設けた。
17	外国語指導助手の派遣 (学校教育課)	TTについて、※印や括弧書きで説明を記載してもよいのではないか。(今後の課題と対応)	【対応】 今後もすべての小・中学校および高等学校等にALTを派遣するとともに、外国語活動外部指導者の派遣により、学級担任(外国語専科を含む)や英語科教諭とのTTを実施し、グローバル社会に対応した英語によるコミュニケーション能力を高める指導の一層の充実を努める。	次のとおり、TTの説明を実績および成果欄に追加する。  今後もすべての小・中学校および高等学校等にALTを派遣するとともに、外国語活動外部指導者の派遣により、学級担任(外国語専科を含む)や英語科教諭とのTT(ティーム・ティーチング)を実施し、グローバル社会に対応した英語によるコミュニケーション能力を高める指導の一層の充実を努める。
27	教育支援センター「すくうる・みらい」の運営 (学校教育課)	フレッシュフレンド説明のための※3がないので記載した方がよい。(実績および成果)	教育支援センター「すくうる・みらい」では、人との関わりを通して自尊感情をはぐくむとともに、達成感や自己肯定感を味わうことができる体験活動や、子どもとその保護者に対する相談活動の充実を図った。また、タブレット端末等を活用した学習支援やオンラインによる教育相談に取り組んだ。 【令和5年度「すくうる・みらい」利用実績】 ・相談件数(臨床心理士) 97件 ・相談件数(指導相談員) 電話105件 来所92件 ・児童生徒入級者数 63人 【令和5年度ICTを活用した教育支援】 ・タブレット端末等を活用した学習支援 のべ29人 142回 ・オンラインによる教育相談 2人 2回 【令和5年度「すくうる・みらい」体験活動】 ・自然体験年3回 ・スポーツ体験、外国語活動等、計34回 【令和5年度フレッシュフレンドの派遣】 ・派遣回数187回 【令和5年度「心のふれあい相談会」の開催】 ・2回開催 座談会20人、個別相談27人	次のとおり※3を追記する。  【令和5年度フレッシュフレンド(※3)の派遣】 ・派遣回数187回

ページ	施策・事業	意見内容(指摘箇所)	報告書(案)の記載内容	対応内容
45	地域と連携したビジネス実践の充実 (商業高校)	SDG s について、※印や括弧書きで説明を記載してもよいのではないか。(実績および成果)	【実績および成果】 これまでのビジネス実践活動に加え、ユネスコスクールとしてSDG s を意識した活動を取り入れ、持続可能な社会の実現のための商品開発やイベント企画などを行ったことにより、従来の商品開発の際にはなかった食品ロスや地産地消などの視点から商品コンセプトやターゲットを考えるなど、より実践的な学習を行った。令和5年度のAK I SHOPでは、22社の企業に協力いただき、39種類の商品を開発し、約4,200個販売した。	次のとおり、SDG s について欄外に説明を追加する。 ※1 SDG s 持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標
45	秋田商業高校学校プログラミング学習支援事業 (商業高校)	教育用マイコンボードの表記を統一するとよいのではないか。(実績および成果)	新教育課程の「情報」に対応し、ICT教材を活用した教育の推進をより一層図るため、授業支援WEB教材(エドテック教材)を導入し、生徒の知識・技能を高めさせるとともに、プログラミングを通して自由に創造し、問題解決を行う力を育むため、教育用マイコンボード(マイクロビット)を教材として取り入れ、情報教育の充実を図った。	次のように修正する。 新教育課程の「情報」に対応し、ICT教材を活用した教育の推進をより一層図るため、授業支援WEB教材(エドテック教材)を導入し、生徒の知識・技能を高めさせるとともに、プログラミングを通して自由に創造し、問題解決を行う力を育むため、教育用マイコンボード(Micro:Bit)を教材として取り入れ、情報教育の充実を図った。
46	専門科目の指導の充実 (商業高校)	「タブレット」と表記されているのが2箇所あるが、他の事業では「タブレット端末」という表記となっているため、特段の意図がなければ統一した表記にした方がよいのではないか。(今後の課題と対応)	【現状(課題・成果等)】 ・タブレットを日常的に活用した授業が行われ、ネット環境での効果的な教材づくりもより活発に行われている。今後は、特に商業科目において、個々の生徒に対応した学習環境を提供し、専門的な知識・技術の定着を図るとともに、さらに、ユネスコスクールとしての活動も引き続き推進する必要がある。 【対応】 ・資格取得に向けて、生徒がいつでも学習に取り組み、生徒の能力に応じた学習を行うための記憶定着アプリをタブレットに導入し、知識・技能の定着を図る。	次のとおり修正する。 【現状(課題・成果等)】 ・タブレット端末を日常的に活用した授業が行われ、ネット環境での効果的な教材づくりもより活発に行われている。今後は、特に商業科目において、個々の生徒に対応した学習環境を提供し、専門的な知識・技術の定着を図るとともに、さらに、ユネスコスクールとしての活動も引き続き推進する必要がある。 【対応】 ・資格取得に向けて、生徒がいつでも学習に取り組み、生徒の能力に応じた学習を行うための記憶定着アプリをタブレット端末に導入し、知識・技能の定着を図る。